

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
役場企画財政課
(☎ 611-2724)

藤沢行政区第4班が 地域内にある公園を整備



芝生の上に土をかぶせる作業中

藤沢行政区第4班（代表者・松館征雄さん）の皆さんは、10月から11月にかけて同行政区内にある「矢巾ハイツ公園」の整備を実施。工事で不要になった資材を利用して、地域住民の憩いの場になるようにと芝生を定植しました。

整備に使用した資材は、同行政区内の道路工事で不要になった土と芝生。同班の住民らが10月7日には石を拾い、11月4日には芝生を定植しました。

公園整備を指揮する松館さんは「高齢者が多くなるが、自分たちの公園を自分たちの手で整備するとみんなが決めたと整備の経緯を話しました。」



11月4日に芝生を定植した藤沢行政区第4班の皆さん

山火事を想定した訓練を実施 町総合防災訓練で防災意識高揚を



火元まで列をなして、水の入ったバケツを渡す
自主防災会の皆さん

町では10月28日、「町総合防災訓練」を矢巾温泉郷周辺で実施。地域住民と町消防団ら約300人が参加し、延焼防止や初期消火、救急救護の訓練などを行い、防災意識の高揚を図りました。

訓練は南昌山麓での「山火事」を想定して実施。町は被害状況を確認のため、ドローンを使用して上空を偵察。町消防団はハンドポンプと水をためるバッグが一体となった「ジェットシューター」で延焼防止訓練、自主防災会はバケツリレーで初期消火訓練を行いました。その他に、炊き出し訓練や煙体験、救急救護などの訓練が行われました。



町消防団が延焼防止訓練を実施中



愛犬と楽しむイベントを開催

ヤハバザール実行委員会とわんわんパトロール隊は11月4日、イベント「わん for all, all for わん」をねむの木公園で開催。来場者はドッグラン体験をしたり犬用の洋服を選んだりして、楽しいひと時を過ごしました。



消防組織強化にベン岩手工場が寄与

町は11月14日、消防団員の確保に寄与した株式会社ベン岩手工場(横沢好夫代表取締役会長)に感謝状を贈呈。

同工場では工場内で消防団入団を勧奨し、今回従業員2人が町消防団に入団しました。



町交通指導隊が発足 50 周年迎える

町交通指導隊(木皿義倫隊長)は昭和43年7月に発足し、今年50周年を迎えた。

11月17日に町公民館で記念式典を開催し、関係者ら約100人が参列。式典の前には服装など点検する特別点検が行われました。



徳田小学校の3、4年生が「怪獣のバラード」ほか2曲を披露

町教育委員会では10月25日、田園ホールで「矢巾町小学校音楽会」を開催。町内6つの小中学校の児童生徒333人が集まり、歌声を家族ら関係者に披露しました。発表会のはじめに、4つの小学校の児童が全員で「もみじ」を合唱。その後は合唱や合奏を煙山小学校から順に発表しました。児童はおそろいの衣装をまとい、心を一つにして歌声と楽器の音色を会場いっぱい響かせていました。中学校の発表は、中学校の文化祭で行われた合唱コンクールで優秀賞を受賞した、矢巾中学校3年4組と矢巾北中学校3年2組の生徒が、美しい歌声を披露しました。

町小学校音楽会を開催
小中学生が歌声を響かせました



協定書を持ち握手を交わす三浦取締役(写真左)と町長

株式会社ユニバース(三浦建彦取締役)と町は11月7日、有事の際の物資供給を円滑に進めるため、「災害時における物資の供給に関する協定」を締結しました。今回の協定により、株式会社ユニバースは町の要請を受けて、地震や風水害などの災害発生時に食料品や飲料水、生活雑貨などの物資を供給。物資は災害状況によって幅広く対応可能で、災害支援物資の供給体制が強化されます。高橋町長は「有事への備えを固めることができ、三浦取締役は「有事の際は物資を素早く住民の皆さんに届けたい」と述べ、力強く握手を交わしていました。

ユニバースと災害協定を締結
有事の際の食料品供給を強固に